

「エラーによる FC ポートは余りに高くディセーブルにしました-ビット エラー率を」

目次

[概要](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[ビットエラーしきい値](#)

[警告](#)

概要

この資料は Multilayer Director Switch (MDS) または Nexus FC 可能なスイッチの Fibre Channel (FC) ポートが原因と「なぜダウンするか原因を記述したものです (ディセーブルにされるエラー-ビット エラー率余りに高く)」

エラー 使用不可状態の詳細な説明はここに見つけることができます:

[FC ポートのトラブルシューティング](#)

確認

ステップ 1 スイッチが問題を検出する、ポートを無効にしたことを確認する show interface コマンドを使用して下さい。

CLI を使用している間違いを起こさない状態の検証:

show interface

fc3/1 はの下であります (ディセーブルにされるエラー-ビット エラー率余りに高く)

ステップ 2 Small Form-Factor Pluggable (SFP) トランシーバの信号レベルについての情報を表示する show interface fcX/Y トランシーバ detail コマンドを使用して下さい:

```
switch# sh interface fc3/1 transceiver detail
fc3/1 sfp is present
  Name is CISCO-AVAGO
  Manufacturer's part number is SFBR-5780APZ-CS2
  Revision is G2.3
  Serial number is AGD16348ETR
  Cisco part number is 10-2418-01
  Cisco pid is DS-SFP-FC8G-SW
  FC Transmitter type is short wave laser w/o OFC (SN)
  FC Transmitter supports short distance link length
  Transmission medium is multimode laser with 62.5 um aperture (M6)
  Supported speeds are - Min speed: 2000 Mb/s, Max speed: 8000 Mb/s
  Nominal bit rate is 8500 Mb/s
  Link length supported for 50/125um OM2 fiber is 50 m
  Link length supported for 62.5/125um fiber is 21 m
```

Link length supported for 50/125um OM3 fiber is 150 m
Cisco extended id is unknown (0x0)

No tx fault, no rx loss, in sync state, diagnostic monitoring type is 0x68
SFP Diagnostics Information:

		Alarms		Warnings	
		High	Low	High	Low
Temperature	27.73 C	75.00 C	-5.00 C	70.00 C	0.00 C
Voltage	3.30 V	3.63 V	2.97 V	3.46 V	3.13 V
Current	6.14 mA	10.50 mA	2.00 mA	10.50 mA	2.00 mA
Tx Power	-2.52 dBm	1.70 dBm	-14.00 dBm	-1.30 dBm	-10.00 dBm
Rx Power	-2.81 dBm	3.00 dBm	-17.30 dBm	0.00 dBm	-13.30 dBm
Transmit Fault Count = 0					

Note: ++ high-alarm; + high-warning; -- low-alarm; - low-warning

switch#

の上で信号レベルが仕様の内にあることを示します。

トラブルシューティング

エラー 使用不可状態の説明はここに見つけることができます:

[ビットエラーしきい値](#)

ビットエラーしきい値

パフォーマンス低下が真剣にトラフィックに影響を及ぼす前にスイッチによってビット エラー率 (BER) しきい値が増加されたエラー発生率を検出するのに使用されています。

ビットエラーは次の原因が理由で発生します:

- 不良か悪いケーブル。
- 不良か悪い GBIC か SFP。
- GBIC か SFP は 1 Gbps で動作するために規定されますが、2 Gbps で使用されます。
- GBIC か SFP は 2 Gbps で動作するために規定されますが、4 Gbps で使用されます。
- 短距離 ケーブルは長距離のために使用されますまたは長距離 ケーブルは短距離のために使用されます。
- 瞬時同期化損失。
- 1 の緩いケーブル接続か両端。
- 1 つの不適当な GBIC または SFP 接続か両端。

BER しきい値は 15 のエラー バーストが 5 分間 な期間に発生するとき検出する。デフォルトで、スイッチはしきい値が達するときインターフェイスをディセーブルにします。インターフェイスを再び有効にするのに **shutdown** および **no shutdown** コマンド シーケンスを使用して下さい。

cable/s、GBIC/SFP をとまたパス パッチ パネルによって不良で物理的な 機器をステップ一度に取り替えること除外して下さい。

しきい値が超えるときインターフェイスをディセーブルにしないためにスイッチを設定できます。デフォルトで、しきい値はインターフェイスをディセーブルにします。

スイッチポート無視ビットエラー無し

注: 設定の上でむしろトラブルシューティング セッションの間に使用されるために去ることは賢明不明確に、ではありません。

注: スwitchポート無視ビットエラーの設定に関係なく BER しきい値が超過するとき、スイッチ生成します syslog メッセージを命じて下さい。

警告

foillowing 2 つの問題を理解しておいて下さい false positive による port/s をディセーブルにする:

FC インターフェイスは比率が低いとき「ビット エラー率原因で」が余りに高くディセーブルにしました

Nexus : Cisco Bug ID [CSCux76712](#)

MDS : Cisco Bug ID [CSCuo56792](#)